

区政への主な意見と回答 令和7年9月分

1 杉並第一小学校移転後の跡地

Q 杉一の跡地に、新しい図書館や老人や子供が共有できる場所、また子供食堂やディケア認知症の複合型施設のような世代を超えた場所を作ってください。不登校、未就労者、学生や弱者も集える幸せな場所を作ってください。

A 杉並第一小学校移転後の跡地については、平成29年に策定した「杉並第一小学校等施設整備等方針」において、駅前という立地条件を踏まえ、産業の振興やにぎわいの創出などに資する施設を整備することとしています。具体的な跡地の活用方法については、今後、跡地を所有する他の地権者と協議しながら、検討を進めていきます。

また、地域にお住いの皆さまのご意見等をお伺いしながら検討の具体化を図ることは重要であり、頂いた跡地活用に関するご意見についても、今後の検討の参考にします。

なお、今年度は、跡地活用のアイデアについて地域にお住いの皆さまと一緒に考えるワークショップを開催するなど、今後も様々な機会を捉えて地域にお住いの皆さまの意見等を伺いながら、跡地活用の検討を進めています。

担当 企画課

2 運動系の放課後デイ、身体を動かせる子どもの居場所を作ってほしい

Q 運動発達の遅れや発達性強調運動障害の子どもが支援を受けられる施設が区内にありません。未就学児の療育では存在しますが、数がとても少なく、支援を必要とする児童が利用できていないのが現状です。

運動発達遅滞、DCDの児童がサポートを受けながら、身体を動かして過ごせる放課後の居場所を作ってください。

猛暑日や雨天時も利用できる室内遊び場もぜひ作っていただきたいです。

A 区では、放課後等デイサービス事業所はまだ少なく、十分な利用枠の確保ができない状況です。また、運動発達の遅れや発達性協調運動障害の子どもが支援を受けられる、運動療法を実施している事業所について、法人からの新規開設相談時に、身体を動かして過ごせる放課後の居場所のニーズがあることを説明しながら、進めています。

また地域にある児童館には遊戯室を備えており、猛暑日も雨天時も、遊戯室で体を動かす遊びをしていただくことができます。日曜日は、サンカードによる親子利用も行ってお

ります。ぜひご利用ください。

担当 障害者施策課/児童青少年課

3 HPV の 9 値ワクチンの男性への費用助成について

Q 私は、中学生と小学生の子どもを持つ主婦です。

日本はなかなか男性への 9 値ワクチンの承認がおりなかったことから接種の期間が終わる前に 4 値だけでも打とうと思い、9 月中に中学生の長男に接種させたくかかりつけ医の予約を入れていたところ、待ちに待った 9 値ワクチンの男性への接種が承認されたニュースを目にしました。

子どもたちには少しでも癌になるリスクを減らしてあげたいのが親心です。小学生の娘は来年になれば公費で 9 値ワクチンを打てますが、息子は男の子であるだけで 4 値しか助成がされないことを心苦しく思っています。

どうか、早急に男の子への 9 値ワクチンの費用助成をしていただけないでしょうか。他にも心待ちにされている保護者は多くいると思います。

A ご承知のとおり、杉並区では、令和 7 年 4 月から任意で行う男性の H P V 感染症予防接種について費用助成を開始いたしました。令和 7 年 9 月現在、費用助成の対象ワクチンは 4 値ワクチン（ガーダシル）のみとしています。

このたび、9 値ワクチン（シルガード 9）の接種対象が男性にも拡大されたことは承知しておりますが、費用助成の対象ワクチンとするかにつきましては、東京都や他区の動向等を踏まえ、対応していきます。

担当 保健予防課

4 ロケット公園のとりこわし

Q お店の前に「ロケット公園なくさないで」と書いてあるはたを見て知りました。

ロケット公園は、小学校のみんながほかに遊んでいる場所です。男女問わず、遊具を使って鬼ごっこをして楽しんでいます。

おやつを食べたりもし、子どもたちの大切な場所です。ロケット公園がなくなったら、近くに遊具のある場所がないので、遊べません。どうか、ロケット公園をこわさないでください。

A 最近のニュースで見るよう、大雨が降ることで水害というみなさんのおうちや道路が水びたしになったりするなど、とても危険なことが起きてしまうことがあります。善福寺川のまわりでも、たびたび水害が起きており、こうしたことを防ぐために、東京都が「調節池」という施設をつくる計画をしています。この施設は、区民のみなさんを守るために必要なもので、杉並区もみんなのいのちや生活を守るために、調節池は必要だと考えています。

ただ、その工事によって「公園で遊べなくなる」と心配な気持ちが出てくるのは、とてもよく分かります。公園は子どもたちの大切な場所ですし、遊ぶ楽しさや安心感を守りたいという気持ちは、杉並区も東京都も同じです。

東京都は、ロケット公園をとりこわすわけではなく、工事をしているあいだも遊べる場所をつくることを考えており、できる限り工事で使う場所を小さくする工夫や、今ある遊具で使えなくなるものがあったとしても、近くに新しい遊具や似たようなものをつくることを説明しています。

杉並区もみんなの遊び場がなくならないように、東京都にお願いしていきます。

担当 土木計画課

5 児童見守りシステム導入希望

Q 品川区では20年前から在住の小学生にGPS・通話機能付き防犯ブザー「まもるっち」を配布しています。

いじめなどの悩みを相談できる窓口にも直接通話できるようになっています。

A 杉並区では子どもの危機管理対策として、防犯ブザーの貸与、校門への防犯カメラの設置、民間警備員の配置、地域住民で構成される学校安全支援隊などを行っています。また、区ではいじめを絶対に許さない・放置しないという認識のもと、「杉並区いじめの防止等に関する条例」を4月1日に施行しました。いじめの相談に関しても、区立小・中学校全校にスクールカウンセラーを配置すると共に、児童生徒に親身に寄り添い、安心して相談できる窓口として区教育委員会内に「いじめ電話相談」を開設しています。

ご指摘の「まもるっち」は、品川区で導入されていることは杉並区としても承知しています。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきながら、よりよい危機管理体制の充実に取り組んでいきたいと考えています。

担当 教育委員会庶務課

6 小学校の空調について

Q 子供が在籍する学校の教室環境について要望があります。現在、教室の室温が連日30度近くに達しており、児童の学習環境として極めて不適切な状況となっています。にもかかわらず、学校からはエアコンの交換や改善予定について説明がありません。

熱中症の危険性はすでに広く指摘されており、「児童に健康被害が出てから」では遅いです。教育環境の整備は区の責務であり、速やかにエアコン設備の更新、もしくは暫定的な冷却対策を講じてください。

【要望事項】

- 1 当該教室を含む学校の空調設備状況について、早急な現状調査と公開
- 2 必要なエアコン更新または修繕の計画を、明確な時期を示して提示
- 3 対応が遅れる場合には、扇風機や移動式冷風機等による緊急措置を実施

A 昨今の猛暑の中、一部区立学校の屋上階の教室において、室温が十分に下がらない事象が発生していました。

この状況を踏まえ、区では順次エアコンの分解洗浄や教室の天井断熱改修を実施していました。今回ご指摘のあった教室につきましても、断熱化改修工事を行った教室でしたが、改めて区職員で現地を調査したところ、他の教室に比べ風量が弱く、エアコンの機能が不十分であることが確認できたため、業者を手配し、9月9日にエアコンの分解洗浄を実施させていただきました。洗浄後は風量も確保され、一定の改善が図れたものと認識しています。

今後につきましては、教室の天井断熱改修に加え、エアコンの更新計画も検討していきます。

担当 学校整備課